## 福岡都市圏南部環境事業組合建設検討委員会 第6回建設専門部会 会議概要

1 .開催日時	平成19年11月22日(木) 15:50~16:35
2 .開催場所	大野城市役所 426会議室
3.出席者	( 正副部会長以外は五十音順) 松藤康司部会長、神野健二副部会長、浦邊真郎委員、槇田裕之委員
	オブザーバー 福岡市 計画課長、他 1 名 春日市 環境課長、他 1 名 大野城市 リサイクル推進課長 太宰府市 環境課長 那珂川町 環境防災課長
4.欠席者	包清博之委員、村山博俊委員
5.議題	議題 1 中間処理施設の稼働状況・維持管理に関する評価項目(案)について ハードル方式の評価項目(案) 評点方式の評価項目(案)

議題1 中間処理施設の稼働状況・維持管理に関する評価項目(案)について

## 【協議内容】

可燃ごみ処理施設において最低限達成しなければならない次の4項目をハードル方式の評価項目とする

建設用地に収まること

現状のごみ収集方式で処理できること

稼働実績が十分あること

県・市・町・組合の方針遵守(節水など)

評点方式の評価項目については、検討の結果、次の項目について変更する

- 3.「エネルギーの効率化を含む環境への配慮」については、(2)環境への配慮の 節電・節水システムを 節水システムへ変更する。節電の評価は、所内消費電力の評価で行うこととしている。
- 4.「経済性」の次の3つの中項目については、区分して評価することが困難な小項目があり、 その取り扱いを次の通り変更した。
- (1)イニシャルコストについては、プラント設備を3項目と建屋1項目の4項目としていたが、 プラント設備を3項目に区分することが困難であり、ひとまとめにすると共に、建屋につ いては処理方式の差が出にくいことから、プラント設備1項目にまとめる。
- (2)ランニングコストについては、燃料、消耗品など4項目に区分することが困難であるため、ひとまとめにする。

(3)メンテナンスコストについても、オーバーホール、大規模補修など3項目に区分することが困難であり、ひとまとめにする。